

ふれあい通信



草野 すみ子 ●吉野辺出身
(旧姓：高橋) ●千葉支部

我が故郷は小野町

小野町吉野辺を離れて早五十数年。故郷小野町は自分にとっていつも心に宿るとても懐かしく、温かい場所です。

何年経っても小さいころの記憶は鮮明に残っています。家の周りには、たばこ畑や田んぼ、遠くには高柴山があり、春には近所の方との「結」による田植え、夏には「たばこはさみとたばこ干し」冬には「たばこのし」など近所に行ってお手伝い、小さいころに遊んだ缶蹴りやかくれんぼ、レンゲソウやタンポポが一面に咲いていた田んぼで文字どおりの草野球、冬の田んぼでは、水をためて氷を作り下駄スケートで楽しんだことが鮮明に脳裏に蘇ってきます。

近所のおばちゃんには、いつも声を掛けていただき、ときどきは昼食もご馳走になっていたことが今でも思い出されます。都会には無い温かい思いやりや、やさしさ、どこに行っても知っているおばちゃんやおじちゃんが周りにはたくさんいて、安心していろいろなお話をしていたと思います。

今は、なかなか故郷に帰る機会が少なくなりましたが、小野町が昔と変わらず元気な町のままでいてくれることを心より願っています。

地域おこし協力隊活動記

着任しました。よろしくをお願いします。

初めまして。

昨年12月2日に夫婦で地域おこし協力隊に着任した阿井伸介と申します。妻は阿井由加子と申します。私たちは静岡県藤枝市から移住してまいりました。私は黒にんにくの生産や6次化作業のお手伝いをさせていただき、妻は“つどっておのまち”で、定住コーディネーターの業務をお手伝いさせていただきます。各々担当する業務に関して、まったくの未経験から始めるものですので、不手際も多々あるかと…。その際は失礼の段、お許しいただきたく思います。

なにぶん雪や凍結知らずの生活を約40年ほど過ごしてきた夫婦でありますから、小野町での生活に関わる、雪・凍結対策など、なにもわからないことだらけです。水抜きも知らなかったのですから…。こんな感じですので、皆さんには教えていただきたいことだらけです。ぜひとも機会がありましたら、私たちの話や質問などにお付き合いいただければ幸いです。よろしくをお願いします。

話は変わりますが、昨年12月30日にこちらで知り合いとなったお宅で、お餅つきのお手伝いをさせていただきました。

皆さんにはごくごく当たり前なのかもしれませんが、つきたてのお餅をちぎってそのまま食べたのは、夫婦と

小野町地域おこし協力隊 阿井 伸介

もども初めてで、「こんなにおいしいものが!!!」と感動し、顔を見合わせたところです。

これも移住した成果の一端で、貴重な体験をさせていただきました。

写真はそのご一家との風景で、お孫さんが小さな手でこねているのが、とてもかわいかったです。



つきたてのお餅をいただきました



慣れない作業に奮闘する阿井さん